

平成30年度 工事監査

— 水工第22号
配水管布設替え工事（江吉良その1） —

羽島市監査委員事務局

目 次

1 監査の対象部署

水道部

水道課

総務部

管財課

2 審査期間

工事監査 平成30年9月25日～

平成30年10月29日

3 回答書

羽島市

平成 30 年度

工事技術調査結果報告書

調査実施日：平成 30 年 10 月 29 日（月）

場 所：羽島市役所北庁舎 2 階第一会議室および工事現場

監査執行者：羽島市代表監査委員 (識見) 松岡 滋
〃 監査委員 (議選) 糟谷 玲子

調査対象工事
水工第 22 号 配水管布設替え工事（江吉良その 1）

1 工事概要

(1) 工事場所 : 羽島市江吉良町 地内

(2) 羽島市水道事業及び本工事内容

羽島市水道事業は、昭和33年に竹鼻・江吉良地区を給水対象として創設の事業認可を得て、昭和35年に同地区への給水を開始しており、現在では第7次拡張事業(平成11年3月認可)による計画給水人口73,700人、計画一日最大給水量37,400m³/日を基に整備が進められている。

また、管路の耐震化事業は、全体管路のうち約64kmを基幹管理に位置付け、平成19年の第1期整備計画から始め、平成28年末現在で20,493mが施工済みで、耐震化率は31.7%（現在：約35%）となっている。

今後は、六次総における目標（37%、平成31年）と国土強靭化アクションプラン2016における目標（50%、平成34年）の達成を目指し、整備が進められる。

（羽島市新水道ビジョンより）

本工事は、上記耐震化事業に基づく、基幹管路の耐震化工事である。

◆排水管布設替え工事

DCIP.NS φ 200 L = 394.8 m

DCIP.NS φ 100 L = 21.9 m

仕切弁 φ 200 N = 4箇所

仕切弁 φ 100 N = 3箇所

（3）工事請負業者

株式会社 天王設備工業

「一般競争入札方式 予定価格事前公表 電子入札」

（4）工事費

設計金額（税込） 31,006,800円

予定価格（税込） 31,006,800円

契約金額（税込） 29,160,000円【うち消費税2,160,000円】

（5）工事期間

平成30年8月8日から平成31年1月29日

（6）進捗状況

工事 (平成30年9月30日現在)

計画出来高 10.0% 実施出来高 10.0%

2 調査所見

2—1 書類関係

地方自治法・金銭的保証制度として、履行保証制度の活用が図られている。

(1) 契約保証金にかわる保証について、適正に施行されていた。

【大垣共立銀行	2,916,000円 請負金額の10%以上】
前払金保証について、施工業者からの請求が、現時点では出でていない。	0円 請負金額の40%以内】

(2) 入札状況について

本工事の契約方式は、「総合評価落札方式」で施工されていた。

「総合評価落札方式」とは、平成17年に施行された価格と品質（技術力等）が総合的に優れた内容の契約がなされることを基本理念とした「公共工事の品質確保の促進に関する法律（品確法）」に基づく契約方式で、入札者が提示する技術力等と入札価格を総合的に評価し、契約の相手方を決定する方式である。

羽島市では、平成19年に「羽島市建設工事総合評価落札方式試行要領」をさだめ、年間2~3件、工事費2千万円程度以上の工事で、羽島市業者指名審査委員会の審議を経て対象工事を決定し、実施している。

この方式では、落札者の決定基準が重要となるが、同要領では2名以上の学識経験者の意見を聞くこととなっており、本工事においても、事前に「岐阜県公共事業執行共同化協議会 総合評価部会（総合評価共同会議）」に諮り、意見を聴取している。

(3) 契約関係書類

工事請負契約書は、『公共工事請負契約約款』に基づき適正に作成されていた。

(4) 現場代理人及び下請負等届

技術者届等は、適正に整備・保管されていた。

また、下請け人については、下請負人の技術者・資格の写し、施工体系図、下請負契約等と共に整理され、適正に見やすくファイリングされていた。

建設業法（建設業法26条の1）により定められた主任技術者は適正に配置されていた。

同様に監理技術者は下請契約の請負金額の合計が、4,000万円未満であるため、配置する必要が無い。（建設業法26条の2）

(5) 建設業退職金共済制度の共済証紙など書類

中小企業退職金共済法に基づく、退職金共済契約者を確認した。

(6) 請負業者加入保険など書類

労働災害保険、法定外労働補償（建設共済等）の書類を確認した。

2—2 積算・設計に関する書類

(1) 積算使用単価について

実施設計書に使用する単価表 平成 30 年 4 月 岐阜県

(一財)建設物価調査会「建設物価」、(一財)経済調査会「積算資料」及び、「土木施工単価」、「土木コスト情報」により決定されていたことを確認した。

(2) 設計内訳書

「工事設計書」をチェックしたが、おおむね適正に作成整備されていた。ただし、「残土運搬処理 (SJ0070)」において、発生土処分費は「ほぐし土状態」が対象のため、数量は 1.2m³ とすべきである。

「矢板 (SJ0110)」において、アルミ矢板の設置・撤去歩掛が使用されているが、「建込」「撤去」となるべきところ、「建込」「建込」となっていた。

2-3 施工に関する書類

施工業者からの提出書類は、適正に整理・保管されていた。

(1) 関係諸官庁への届出

本工事は、市道上で施工されるため、事前に道路管理者との協議が適正に行われていることを確認した。

また道路使用に必要な「道路法第 95 条の 2 第 1 項公安委員会との調整」に基づく岐阜県公安委員会との協議が実施されており、これらに関する書類は適正に整理・保管されていた。

(2) 工事カルテ

工事カルテの作成と(財)日本建設情報センター (JACIC) の CORINS(工事実績情報サービス)登録は行われていたが、(口頭で確認)「登録内容確認書」が提出されていなかった。

本来は、登録後 10 日以内に工事関係課に提出されるべき書類であるため、直ちに提出していただきたい。

(3) 下請負書類・施工体系図

下請負については、現時点では 1 次下請負人 3 者が届け出されている。下請負人の技術者・資格の写し、施工体系図、下請負契約書等と共に適正に整理・保管されてた。

(4) 工程表管理

契約時及び施工計画に実施工工程表が作成提出され整理されていた。

日報および月報は的確に作成され、工事監督員の確認も適正になされていた。

進捗については、9月末時点で計画出来高 10%に対し、実施出来高は 10%で計画どおりである。

工期は平成 31 年 1 月 29 日までであり、引き続き適正な進捗管理を行っていただきたい。

(5) 施工計画書

岐阜県土木工事共通仕様書第 1 編、1-1-5 に基づき施工計画書が作成されていた。

工事概要、実施工程表、現場組織表、安全管理、緊急時の体制及び対応等必要事項が記載されていることを確認した。

(6) 指示・承諾・協議・提出・報告書

今後、工事の進捗に応じて、指示・承諾・協議等が発生することが見込まれる。
適正な手続きを行い、書類を適正に整理・保管していただきたい。

2-4 建設廃棄物処理に関する書類

発生材について、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」などを遵守した再資源実施計画書を受注者に提出させ、発注者側として管理されていた。廃棄物処理計画書の整備、収集運搬業者との契約なども適正に実施されていた。

今後、受注者には当該産業廃棄物収集運搬業者の収集運搬車両、機材、容器及び積替え保管施設を実地に調査し報告させる。また、当該産業廃棄物処理業者の処理施設を実地に調査し報告させるなど、処理業者の能力確認にも留意していただきたい。

3 現場施工状況調査における所見

(1) 本工事は、現在は約65%程度の出来高の施工途中工事であった。

現場では、設計図どおりに施工されていることを目視にて確認した。

また、交通誘導員による安全管理や環境管理面での十分な対応が、見受けられ、品質、出来栄えは良かった。

(2) 建設業許可票・施工体系図・緊急連絡体制図・労働保険関係成立票

建設業許可票は公衆の見やすい位置に掲示されていること、施工体系図に記載されている全ての建設業者が掲示されていることを確認した。

労働保険関係成立票の「事業主代理人」に現場代理人名が記載されていたが、保険手続きに際し、事業主（通常は社長）の代理人を選出していない場合は、「空欄」となる。

4 技術調査全般

今回の調査では、積算・契約・施工の各段階において調査を実施した。

各段階を通じて、各種届出書や施工計画など、工事着手前、工事中の書類は適正であり、大変分かりやすく整理されていた。

本契約では、「総合評価落札方式」が採用されていた。この契約方式では、価格と品質が総合的に優れた内容の契約となる。聞き取りでは、年間2~3件とのことであったが、今後も引き続き実施されることをお願いする。

施工状況及び管理状況は、実際に現場で調査したが、交通量も多い現道上の工事であったが、安全管理・環境整備等は、適正な状況であった。今後も施工管理、工工管理・品質管理の徹底指導を行い、無事故無災害で完成をお願いする。

以 上

文書中の

_____ 部分は、留意事項

..... 部分は、今後に向けての要望

羽島市平成30年度工事技術調査結果報告書の回答

2 調査所見

2-2 積算・設計に関する書類

(2) 設計内訳書

「残土運搬処理（S J 0 0 7 0）」において、発生土処分費は「ほぐし土状態」が対象のため、数量は1. 2m³とすべきである。

「矢板（S J 0 1 1 0）」において、アルミ矢板・撤去歩掛が使用されているが、「建込」「撤去」となるべきところ、「建込」「建込」となっていた。

[回答]

後日、変更契約をします。

2-3 施工に関する書類

(2) 工事カルテ

本来は、登録後10日以内に工事関係課に提出されるべき書類であるため、直ちに提出していただきたい。

[回答]

提出しました。

(4) 工程表管理

工期は平成31年1月29日までであり、引き続き適正な進捗管理を行っていた
だきたい。

[回答]

引き続き適正な進捗管理を行います。

(6) 指示・承諾・協議・提出・報告書

今後、工事の進捗に応じて、指示・承諾・協議等が発生することが見込まれる。
適正な手続きを行い、書類を適正に整理・保管していただきたい。

[回答]

適正な手続きを行い、書類を適正に整理・保管します。

3－4 建設廃棄物処理に関する書類

今後、受注者には該当産業廃棄物収集運搬業者の収集運搬車両、機材、容器及び積替え保管施設を実地に調査し報告させる。また、該当産業廃棄物処理業者の処理施設を実地に調査し報告させるなど、処理業者の能力確認にも留意していただきたい。

[回答]

今後、受注者には該当産業廃棄物収集運搬業者の収集運搬車両、機材、容器及び積替え保管施設を実地に調査し報告させる。また、該当産業廃棄物処理業者の処理施設を実地に調査し報告せるなど、処理業者の能力確認にも留意します。

4 現場施工状況調査における所見

(2) 建設業許可票・施工体系図・緊急連絡体制図・労働保険関係成立票

労働保険関係成立票の「事業主代理人」に現場代理人名が記載されていたが、保険手続きに際し、事業主（通常は社長）の代理人を選出していない場合は、「空欄」となる。

[回答]

「空欄」に訂正しました。